



玉堤

～子ども達の笑顔があふれる学校～

令和5年11月29日
翠と溪の学び舎
世田谷区立玉堤小学校
学校だより 12月号
校長 伊藤 修久

Art（芸術）分野での学びの成果 『展覧会』 ～STEAM 教育～

副校長 長田 清

先日は、『心を形にカラフルに』という6年生が考えたテーマで、展覧会を開催し、たくさんの保護者・地域の皆様にご鑑賞いただきました。子どもたち一人一人の個性や作品のすばらしさを認めていただき、子どもたちは、喜んでいました。お寄せいただいたご感想の中から一部を抜粋して紹介させていただきます。

- ・子どもたちの作品一つ一つに創造力とユーモアが感じられました。ワクワクした気持ちや試行錯誤しながら作品を作っている光景が想像できました。
- ・子どもたちの伸びやかで自由な発想や表現力に驚かされました。
- ・子どもたちの自由な感性にあふれた色とりどりの空間。美術館に行ったように、芸術を楽しむことができました。

子どもたちは、学年ごとに1時間ずつ、お互いの作品を鑑賞し、カードに感想を書いて、よさを伝え合いました。

子どもたちの作品の制作過程や展覧会当日の様子につきましては、学校ホームページに掲載していますのでご覧ください。

さて、今回の展覧会では、子どもたちの Art(芸術)分野での学びの成果を見ていただきました。日本も含めた世界的な教育の潮流として、AI 時代を生きる子どもたちを育てていく上で、「STEAM 教育」の重要性が語られています。「STEAM 教育」とは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(芸術)、Mathematics(数学)の頭文字を合わせたものです。「STEAM 教育」の中核となるのは「ものづくり」であり、「新たなシステムを創り出す」資質の育成です。

落合陽一氏は、著書『0才から100才まで学び続けなくてはならない時代を生きる学ぶ人と育てる人のための教科書』でアート教育の有用性について、次のように述べています。「感覚的、直感的能力を高め、論理的思考を牽引し、時には行き詰った論理をブレイクスルーするためのものとして使うため…。独創的なものをゼロから生み出すには、論理的なアプローチと同時に、アートのプロセスが必要です。アートでは実際に手を動かして試行錯誤を重ねながら作品を創作することで、予期せぬ発想や発見が得られます。造形物はもちろんのこと無形の思考や論理や技術でも、アートのプロセスを経由することで価値を高めることができます。…アート教育で大切なのは作品を鑑賞し、それを言葉にすることです。さらに自分はどういったものをどうやって表現するのかについて言語化して、手を動かして作れるようにします。鑑賞して、言語化して、手を動かすことを繰り返す教育が大切です。」

子どもたちが試行錯誤を重ねながら作品を制作し、思いを表現している姿や、友達同士、お互いに作品を見合いながら交流をしている姿等、本校での授業ではたくさん見ることが出来ます。引き続き、授業を中心とした学校での体験が子どもたちにとって豊かな学びとなるように、我々教職員は、子どもたちが社会で必要とされる能力をしっかりと身に付け、健やかに成長していけるように、日々の教育活動に力を入れていきます。



展覧会

たくさんのご来場ありがとうございました。



12月 行事予定

日	曜日	朝	児童の活動	日	曜日	朝	児童の活動
1	金	学T MT	委員会 花丸先生教室(3年)	16	土		
2	土			17	日		
3	日			18	月	全朝	
4	月	全朝		19	火	学T MT	
5	火	学T MT	避難訓練	20	水	学T MT	個人面談なし
6	水	学T MT		21	木	学T MT	
7	木	安全 指導	エコプロ(6年)	22	金	学T MT	給食終
8	金	学T MT	クラブ 花丸先生教室(2年)	23	土		
9	土	児	土曜授業日	24	日		
10	日			25	月	終業式	終業式 午前授業 給食なし
11	月	全朝	個人面談期間始(22日まで)	26	火		冬季休業日始(1月8日まで) 書き初め練習会
12	火	学T MT		27	水		
13	水	学T MT	個人面談なし 校内研究授業(3年2組のみ5時間授業)	28	木		
14	木	学T MT		29	金		
15	金	学T MT	クラブ 花丸先生教室(3年) 個人面談なし	30	土		
学T: 学びタイム MT: モジュールタイム 児: 児童集会				31	日		